



ジオの自然探訪マップ

宿根木・琴浦周辺には、大昔の海底火山が作り出した地形や岩礁を匠に利用した遺産があります。自然の面白さと利用の巧みさの謎解きを楽しんで歩きましょう。

問合せ先：佐渡宿根木プロジェクト <http://shukunegi.com>

見どころポイント

① いわやさんせつつ 岩屋山石窟



約8万年前に出来た海食洞に磨崖仏（壁に掘られた仏さま）や石仏が安置され、霊場として信仰されて来ました。昭和46年（1971）ごろ、縄文早期の土器も出土しています。

② よこいど 横井戸



水の少ない小木半島で、測量機器も整わない時代に横井戸を掘って水脈を掘り当てたことにより、この地区でも新田が開発されました。

③ しあわせじょう 幸福地蔵



宿根木地区を見渡す十上山の山麓に、高さ17.5mの大地蔵が立てられています。これと同じ形の小型のお地藏さんが琴浦の海中に安置されています。

ジオパークとは？～宿根木のなりたち～

宿根木で見られるまちなみや人々の生活には、必ず佐渡の大地が関連しています。その関連を理解し、楽しむ場所がジオパークです。

宿根木の大地は、大昔の海底火山から噴き出したマグマの破片などで作られています。このようにしてできた岩石は切り出して成形しやすいという特徴があるため、人々は海岸の岩石を切り出し、家の土台や煙突として利用しました。

凡例

- 案内所
- トイレ
- バス停
- 駐車場
- 博物館

アクセス(車)

両津港—宿根木 約1時間10分(約44km)
小木港—宿根木 約10分(約4.5km)
赤泊港—宿根木 約30分(約18.6km)

安全上の注意事項

宿根木～琴浦の海岸は枕状溶岩や水中火砕岩というゴツゴツした岩で出来ているため、ヒールや薄底の靴はおすすめできません。

見学のお客様には町並み保全協力費(100円程度)へのご協力をお願いしております。



④ かいしよくどうぐん 海食洞群



海岸部の岩石の弱い所は、波の水圧や砂や小石の衝撃などによって削られ、このような深い洞窟ができました。

⑤ いしきりばあと 石切場跡



宿根木の町並みや各家々の整備のために、新谷岬の石を切り出して使っていました。よすてこうし世捨小路の敷石などにはその石が使われています。

⑥ はしよくおうけつ 波食甕穴



海岸のくぼみに石ころが入ると、波の渦の力でその石ころが回転し、土台の岩を削ってこのような丸い大きな穴をつくります。

⑦ せいえんようえんとう 製塩用煙筒



海水を煮て塩を作る際に使用された煙突です。新谷岬の石切場から切りだされた岩石で作られています。

⑧ そうまざきどうろ 相馬崎隧道



製塩を行うために昭和10年(1935)から5年の歳月をかけて人の手で岩山を掘ってつくられました。現在は遊歩道の一部として利用されています。